様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	日本ヒューマンセレモニー専門学校
設置者名	学校法人　鶴嶺学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	写しを学校事務所に備え付け、だれでも閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	写しを学校事務所に備え付け、だれでも閲覧可能
財産目録	写しを学校事務所に備え付け、だれでも閲覧可能
事業報告書	写しを学校事務所に備え付け、だれでも閲覧可能
監事による監査報告（書）	写しを学校事務所に備え付け、だれでも閲覧可能

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

（１）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務		商業実務専門課程	フューネラル学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800／75 単位時間／単位	1005/49 単位時間/単位	525/19 単位時間/単位	270/7 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1800 単位時間／75 単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50 人	23 人	0 人	4 人	19 人	23 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・教育課程編成委員会の意見等も考慮し、授業計画の修正等が必要な場合には、原則的に授業開始の 3 カ月前までに授業計画を完成させる。 ・授業計画に関しては、教員室前及び学校受付窓口にてファイル保管し、だれでも閲覧可能な状態としている。
成績評価の基準・方法
（概要） ・各科目ごとにシラバスによって定められた方法によって評価する。 ・総合点を 100 点満点とし、A:100～80 点、B:79～70 点、C:69～60 点、D:59 点以下で評価する。 D 評価に関しては、不合格とし履修を認定しない。（再試験対象） ・各科目の総授業時間に対して、30%以上欠席した者の履修認定はしない。 （補講の対象）

卒業・進級の認定基準
（概要） ・卒業認定に関しては、教育課程における全科目の修了をもって認定する。 ・資格取得ポイント 20 ポイント以上の取得。 ・教職員による卒業認定会議において認定する。

学修支援等
（概要） ・クラス担任制 ・電話にて、本人及び保護者への日常的な連絡。 ・本人及び保護者面談の実施 ・家庭訪問の実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6　人 （100%）	0　人 （　0%）	5　人 （　83.3%）	1　人 （　16.7%）
（主な就職、業界等） 葬儀社・葬祭関連事業者			
（就職指導内容） 履歴書の書き方・面接練習・個別相談（面談）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 葬祭ディレクター（２級）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19　人	5　人	26.3%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・本人との日常的な面談 ・複数教職員による声がけ、面談 ・保護者との情報共有、面談		

（2）

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		商業実務専門課程	ｴﾝﾊﾞｰﾐﾝｸﾞ学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1815／69 単位時間／単位	855/43 単位時間/単位	450/15 単位時間/単位	510/11 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1815単位時間／69単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50人	40人	0人	4人	19人	23人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・教育課程編成委員会の意見等も考慮し、授業計画の修正等が必要な場合には、原則的に授業開始の3カ月前までに授業計画を完成させる。
・授業計画に関しては、教員室前及び学校受付窓口にてファイル保管し、だれでも閲覧可能な状態としている。

成績評価の基準・方法

（概要）
・各科目ごとにシラバスによって定められた方法によって評価する。
・総合点を100点満点とし、A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59点以下で評価する。
D評価に関しては、不合格とし履修を認定しない。（再試験対象）
・各科目の総授業時間に対して、30%以上欠席した者の履修認定はしない。
（補講の対象）

卒業・進級の認定基準

（概要）
・卒業認定に関しては、教育課程における全科目の修了をもって認定する。
・資格取得ポイント20ポイント以上の取得。
・教職員による卒業認定会議において認定する。

学修支援等

（概要）
・クラス担任制
・電話にて、本人及び保護者への日常的な連絡。
・本人及び保護者面談の実施
・家庭訪問の実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16　人 （100%）	0　人 （　0%）	16　人 （　100%）	0　人 （　0%）
（主な就職、業界等） 葬儀社・葬祭関連事業者			
（就職指導内容） 履歴書の書き方・面接練習・個別相談（面談）			
（主な学修成果（資格・検定等）） エンバーマー 葬祭ディレクター（２級）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34　人	3　人	8.8%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・本人との日常的な面談 ・複数教職員による声がけ、面談 ・保護者との情報共有、面談		

②学校単位の情報

ａ）「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
ﾌｭｰﾈﾗﾙ学科	150,000 円	750,000 円	200,000 円	入学検定料、施設費
ｴﾝﾊﾞｰﾐﾝｸﾞ学科	150,000 円	750,000 円	300,000 円	入学検定料、施設費 校外実習費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己点検評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
自校ホームページに掲載
https://humanceremony.ac.jp/information-disclosure/

第三者評価の基本方針（実施方法・体制）

産業界等のニーズに即した人材育成教育を行うため、企業等の学校関係者より、最新の情報、現場からの有用な意見を得ることが必要である。そのために学校自己評価委員会を立ち上げた。また、その意見をもとに学校関係者評価委員会に反映させている。

評価項目について
①教育理念・目標、②学校運営、③教育活動、④学習成果、⑤学生支援、
⑥教育環境、⑦学生の受け入れ募集、⑧財務、⑨法令の遵守、
⑩社会貢献・地域貢献の 10 項目に分類し評価を行っている。

学校評価の活用方法
実施時期は学園の決算の終わった毎年 6 月の時期に年度の各種資料を基に実施する。学校評価から出た改善提案、各種意見は、学校長の責任の元、各学校の「教務会」、学園全体の幹部会議である「運営会議」、事務担当者の集まる「事務担当者会議」において周知され、運営に活用されている。

第三者評価の委員

所属	任期	種別
道塾　慶陽館	令和 8 年 4 月 1 日~ 令和 10 年 3 月 31 日	教育関係者
有限会社関口造花店	令和 8 年 4 月 1 日~ 令和 10 年 3 月 31 日	企業関係者 卒業生
ＮＰＯ法人 トータルライフサポートクラブ	令和 8 年 4 月 1 日~ 令和 10 年 3 月 31 日	ＮＰＯ法人関係者

第三者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
自校ホームページに掲載
https://humanceremony.ac.jp/information-disclosure/

（備考）
第三者評価未実施、学校関係者評価について記載

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://humanceremony.ac.jp